

薩摩中央高等学校の案内板に「鬼滅の刃」で使われた書体が用いられたことが、南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

校名を「鬮龍」書体で書いた案内板
11月30日、さつま町虎居



大人気「鬼滅」の書体次々

高校案内板・商工会食事券

「全集中」町内外にPR

さつま町で、人気テレビアニメ「鬼滅の刃」で使われた毛筆書体の活用が相次いでいる。製作した地元の昭和書体の協力を得て、看板や食事券に登場。映画版が大ヒットしている作品にあやかうると、「全集中」で町内外にPRする。

さつま

メの登場人物のように諦めない強さを持ちたい」と話す。

さつま町商工会は、2日から販売する「Go To イート」の食事券を作った。書体は同じく人物紹介に使われた「黒龍」。アニメ主人公が着る服の市松模様をデザインに取り入れ、町のシンボルのホタルと竹をイメージし、黄色と緑色を組み合わせる。

同町虎居の国道267号沿いにお目見えしたのは、「県立薩摩中央高等学校」と書かれた案内板。横9・6尺、縦0・8尺で、アニメの魅力を発信しようと、町が約200万円かけて設置した。部活などでの生徒たちの活躍を発信できるように横断幕を掲げるスペースも設ける。生徒の評判も上々。1年末吉愛吹さんは「力強い文字でかっこいい。アニメ

使う。

定員割れが続く地元高校の魅力を発信しようと、町

メで登場人物の紹介に使われた「鬮龍」という書体を使う。

定員割れが続く地元高校の魅力を発信しようと、町が約200万円かけて設置した。部活などでの生徒たちの活躍を発信できるように横断幕を掲げるスペースも設ける。生徒の評判も上々。1年末吉愛吹さんは「力強い文字でかっこいい。アニメ

メの登場人物のように諦めない強さを持ちたい」と話す。さつま町商工会は、2日から販売する「Go To イート」の食事券を作った。書体は同じく人物紹介に使われた「黒龍」。アニメ主人公が着る服の市松模様をデザインに取り入れ、町のシンボルのホタルと竹をイメージし、黄色と緑色を組み合わせる。



「黒龍」書体を使った食事券11月30日、さつま町宮之城屋敷

(右田雄一)